

What's New

平成29年9月1日

柳津町商工会


http://www.yanaizu.net/

TEL(058)387-6464








FAX(058)387-6878

地域経済の動き、消費動向・トレンド等、経営に役立つ情報を定期的にお届けします。

7月岐阜県内の景気動向（財務省東海財務局岐阜事務所 8月1日発表）

前回（29年4月判断）	一部に弱さがみられるものの、回復しつつある	前回比較	
今回（29年7月判断）	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している		

【各項目の判断】

項目	前回（29年4月判断）	今回（29年7月判断）	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	緩やかに持ち直している	
雇用情勢	着実に改善している	着実に改善している	
住宅建設	前回は上回っている	前回は下回っている	
設備投資	28年度通期は減少見込み	29年度通期は増加見通し	
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	
企業収益	28年度通期は減益見込み	29年度通期は減益見通し	

▲▼▲▼ 注目の話題 ▲▼▲▼

もう一つの2040年問題

2040年問題といえば、全国1,800市区町村の半分の存続が難しくなるとの予測で、全国にショックをもたらしましたが、自動車業界でも大きな節目の年になるようです。

イギリス政府は、排ガスによる大気汚染問題に対処するため、2040年以降、国内でのガソリン車とディーゼル車の販売を禁止する方針を発表しました。

フランス政府もこれに追随する形で、同年以降、内燃機関自動車の販売禁止方針を表明しました。

EV（電気自動車）や自動運転をはじめ、新世代のクルマが今後、産業構造を大きく変える可能性があり、既に中国ではEVの台頭が大きな波となって押し寄せています。

▲▼▲▼ キーワード ▲▼▲▼

高度プロフェッショナル制度（高プロ）

政府が導入を目指す、高度専門性の高い職種で、年収の高い人を労働時間の規制の対象から外す新たな仕組み。年収1,075万円以上のアナリスト、研究開発職などの専門職が対象。対象となる労働者は残業や深夜・休日労働をしても割増賃金支払いが不要になる。

▽今年4月にお子様が就職したこと等により扶養控除対象者の減少が見込まれる方へ

今年分から扶養控除額が減少することにより所得税が増加する可能性があります。この機会に掛金が全額所得控除になり節税にもつながる小規模企業共済への加入、増額を検討してはいかがでしょうか。詳しくは商工会へお尋ねください。

話しかけない接客サービス

－ 衣料品店や美容院、タクシー運転手も「声かけ」を自粛 －

最近、「話しかけない接客」を取り入れる衣料品店や美容院などが登場しています。丁寧な言葉遣いや声かけはサービスの基本とされていますが、「おもてなし」の形が少しずつ変わってきているようです。

店員からの声かけが苦手という人は少なくありません。ニュースサイト「しらべえ」が2015年2月、全国の男女1,500人を対象に行ったアンケートでは、「服を買う時、そっとしておいてほしいと感じたことがある」という設問に「はい」と答えた人は8割を超えています。

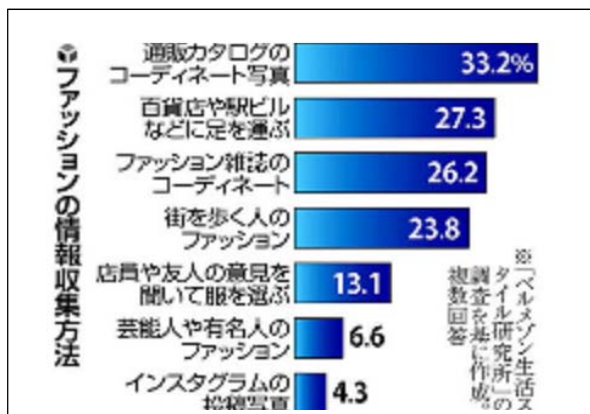
こうした中、大阪に本社があるセレクトショップは今年5月、東京、名古屋、大阪などの計23店舗で、手に持つと「声かけ不要」の意思表示になる店内用ショッピングバッグを導入しました。

あえて話しかけない接客は美容院にも広がっています。東京都目黒区のある美容院では、来店時に名前や住所を記入するカードに、「物静かな美容師に担当してもらいたい」「ヘアスタイル以外の話はしたくない」といった項目を設け、選んでもらっています。店のマネジャーによると半数が「話したくない」を選ぶということです。

美容院の検索予約サイトでも、予約の際に「楽しく話したい」「静かに過ごしたい」を選ぶことができるものがあります。サイト運営会社によると、7年前は「静かに過ごしたい」を選択する人は約15%だったが現在は約40%に増えたということです。

ファッションや美容関連以外では、京都市の某タクシー会社が今年3月から約4か月間、運転手が車内での声かけを抑制するタクシー10台を試験的に導入しました。

ベルメゾン生活スタイル研究所が2016年、全国の4,425人の女性を対象にファッション



情報の収集方法について尋ねたアンケート（複数回答）では、「通販カタログのコーディネート写真」（33%）、「百貨店などに足を運ぶ」（27%）、「ファッション雑誌」（26%）の三つが上位に選ばれた。「店員や友人の意見を聞いて服を選ぶ」と回答した人は13%にとどまっています。

「店員の助言」に一定の需要

それでも、店員と相談しながら品物を選ぶサービスには一定の需要があります。東京のある百貨店では、化粧品に関する知識を備えた「コスメ専任アドバイザー」が好評です。客に合った手入れ方法を助言したり、様々なブランドの中からコスメ選びを手伝ったりしてもらえます。

買い物に同行する「パーソナルスタイリスト」に依頼する人もいます。このサービスを行う店員は「プロの目によって、自分の感覚では選ばなかった色や形の服に巡り合える。殻を破って印象を刷新するのを楽しむ人は多い」と話しています。

顧客のニーズは多様化しており、それに応じた接客が求められる時代が到来したようです。